

サステナブル社会における資産運用業のあり方 —対談—

猿 田 隆 CMA
(三井住友DSアセットマネジメント代表取締役社長兼CEO)

前 原 康 宏 CMA
(日本証券アナリスト協会専務理事 (対談時))

目 次

1. 新型コロナウイルスの感染拡大の中で生じた変化

1. 新型コロナウイルスの感染拡大の中で生じた変化

前原 2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大で大変な1年だった。今回の国際セミナーのビデオメッセージで、シュローダー CEOのハリソンさんは、2020年を振り返って、3月から4月にかけての資本市場での短期的な危機、実体経済面での中期的な危機、健康面や社会面での長期的な危機という三つの危機に言及した。この対談では、資産運用会社の視点から、健康面や社会面での長期的な危機について伺いたい。

新型コロナウイルスの感染拡大は、オフィス以外で働く時間が増えたという面で、これまでの働き方を大きく変化させたように思う。こうした変化は、人材育成や社内でのコミュニケーションに

2. FD・サステナビリティ原則

どのような影響を与え、そうした影響にどのように対処しているのか。また、顧客との関係について、どのような変化が起き、それにどのように対応されているのか伺いたい。さらに、コロナ後の新しい社会のあり方として、ニューノーマルということがいわれている。猿田さんは、ニューノーマルをどのようにとらえ、資産運用会社として、どのような対応をしていけばよいと考えているのか。

猿田 働き方の変化への対応については、当社では、新型コロナウイルスの感染拡大の前に1人1台のノートPC配付を完了させテレワーク制度を整備しており、申請すればテレワークもフレックス勤務もOKという状態になっていた。このため、2020年4月7日に東京、大阪など7都府県で緊急事態宣言が発令された時点で、ほぼ9割の職員

猿田 隆 (さるた たかし)

三井住友DSアセットマネジメント代表取締役社長兼CEO。1984年慶應義塾大学商学部卒業。同年住友信託銀行入社、2004年野村アセットマネジメント入社、2013年常務執行役員運用調査本部長、トレーディング本部長、2014年執行役専務、2018年野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー取締役会長、2019年野村アセットマネジメント顧問、同年三井住友DSアセットマネジメント副社長執行役員を経て、2020年より現職。

(この対談は、2021年3月12日に日本証券アナリスト協会にて収録された)